

# 読まんかねがっ

## ★佐藤涼子先生のおはなし会 開催★

昨年11月に、子どもゆめ基金助成事業でお迎えした佐藤涼子先生が今年もまた、来てくださいました。

今年は西ノ島がゆめ基金事業で佐藤先生をお迎えしたのですが、隠岐の島町まで足をのばしてくださいました。

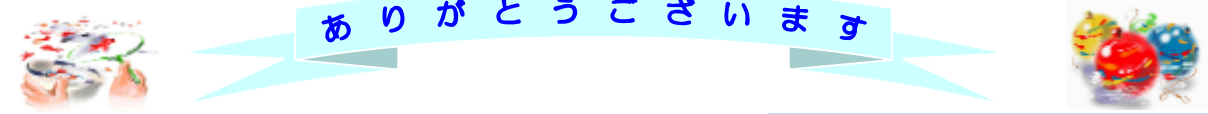
7月24日(月)には、夜7時半から西町にある善立寺で、「おはなしの夕べ」と題してこわ~いおはなしをしていただきました。40名近くの参加者があり、雰囲気のあるあるお寺でのお話を楽しみました。

また、25日(火)には図書館研修室で「本の世界で遊ぼう!」と題して、アニメーションやこわ~いおはなしをしていただきました。20名近くの参加者があり、楽しい本の世界へ惹きこまれていました。

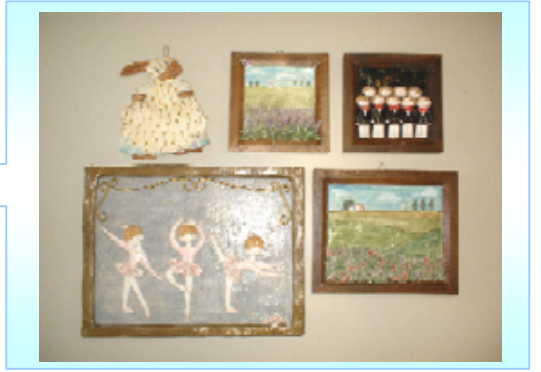
**佐藤涼子先生 プロフィール**

NPO図書館の学校理事  
NPOブックスタート監事  
明治大学・青山学院大学等非常勤講師  
全日本語リネットワーク運営委員長  
主な著書(編書)「児童サービス論」(教育史料出版会)「語ってあげてよ!子どもたちに」(編書房)など多数。  
また、「火ようびのごちそうはひきがえる」「かしこいポリーとまぬけなおおかみ」などの外国児童図書の翻訳も多数。

今回佐藤先生がされたアニメーションは…



読み聞かせのボランティアをされておられる方から、クレイアートの作品をいただきました。ありがとうございます。早速館内に飾らせていただきました。殺風景だった所にほんわか暖かい空気が流れました。かわいらしくすてきな作品ですので、ぜひご覧ください。小さい額縁のなかにとっても細かく手が入っているのには驚きます。



先月に引き続き、吉田さんと松本さんに裏庭の草刈りや剪定をしていただきました。図書館へ来られるたびに、花壇のことなどを心配してくださって声をかけてくれます。いつもありがとうございます。

毎週火曜日の午前中にボランティアに来てくださる方がいます。こまごまとした作業を笑顔で引き受けてくださり、とても助かっています。いつもありがとうございます。

## 展示コーナー

### 発見! 隠岐の古地図 大仲家古地図・古文書展

9月30日まで、展示コーナーにおいて「発見! 隠岐の古地図 - 大仲家古地図・古文書展 -」を開催しています。今回の展示物は梶村祐三夫人が大仲家の直系であり、現在まで残っていたものの一部をお借りしたものです。西郷陣屋周辺図(矢尾村の松江藩郡代の陣屋周辺の図)や隠岐島島後図(慶応元年に池田勘左衛門教隆により写された古地図)など、古い時代の珍しいものを展示しています。この機会にぜひ、ご覧ください。



↑ 『西郷陣屋周辺図』

図書館職員のオススメの本 (毎月職員が交代で紹介します)

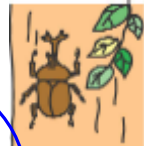
今月は鳥井です

### 『となり町戦争』 三崎 亜記 集英社

日本人は戦争というものに対して無関心だとよくいわれますが、もし、私たちの身近なところで戦争が起こったらどうなるでしょうか。日本のどこにでもありそうな田舎町で、突然「戦争」が始まります。サラリーマンの主人公はある日、町の広報によって自分の住んでいる町で「戦争」が行われるということを知ります。主人公は特殊任務(戦時特別偵察業務)の辞令を役場のとなり町戦争課から渡され、次第に「戦争」に巻き込まれていきます。「戦争」といえば、銃器や戦車を使って人が争う過激な戦闘シーンを連想しがちですが、この本はそのようなシーンは一切出てきません。そこがとても不思議な本です。行政が主体となった戦争はこんなものなのかなと思わず笑ってしまいました。ぜひ読んでみてください

### アニメーションってなに?

ラテン語のアニマ(anima) = すべての人間が持って生まれた生命・魂を生き生きと躍動させること。生命力・活力を吹き込み心身を活性化させることを意味する言葉です。読書のアニメーションとは、スペインのジャーナリストで児童図書館活動家である、モンセラット・サルト氏が提唱した「読書ゲーム」に啓発されて始められたものです。子どもの読む力を引き出し、どんな子どもでも読書を楽しみ、深く考え質の高いコミュニケーションを身につけることができます。子どもたちは「ゲーム」を楽しみながら、自然に物語の中へ入り込んでいくことができるのです。



「ロバのシルベスターとまほうのこいし」 ウィリアム スタイグ作 評論社 を使って...

本を読んだあと、それぞれの場面が描かれたカードをシャッフルしてばらばらになったものを、参加者がストーリーどおりの順番に並べ替えるというもの。

「にんきものずかん」 近藤薫美子 作 BL出版 を使って...

本に登場するにんきものたちの持ち物のミニチュアを見せて(ピンセットで挟むくらい小さなもの)、誰の持ち物なのかを当ててもらおうというもの。

ゲーム感覚で本に触れることのできるアニメーションは子どもたちにも新鮮だったようです。これからアニメーションを取り入れたイベントなどができればいいと思います。